

令和6年度 共通評価項目（6. サービス提供のプロセス） 学童クラブ

1 サービス情報の提供

1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している

- 1 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
- 2 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
- 3 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している
- 4 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

2 サービスの開始・終了時の対応

1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている

- 1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している
- 2 サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている
- 3 サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している

2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- 1 サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
- 2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している
- 3 サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている
- 4 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている
- 5 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている

3 個別状況の記録と計画策定

1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している

- 1 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している
- 2 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている
- 4 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している

2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

- 1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
- 2 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している

3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- 1 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している
- 2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている
- 3 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている

4 サービスの実施

1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じて援助している

- 1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで援助している
- 2 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め、お互いを尊重しながら協力し合い、関係を豊かに作り出せるよう援助している
- 3 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか等)に対し、子どもの意見に耳を傾け、感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している
- 4 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるように援助している

2 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している

- 1 子どもの自主性、自発性を尊重し、発達段階にふさわしい遊びと生活を送ることができるよう環境を工夫している
- 2 子どもが集団活動に主体的に関われるよう、援助している
- 3 生活や遊びを通して日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう、援助している

3 日常の活動に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

- 1 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している
- 2 子ども同士が意見を出し合いながら企画や活動をつくり上げていく機会を設けている
- 3 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている

4 子どもの主体性を尊重し、学童クラブでの生活が楽しく、快適になるような取り組みを行っている

- 1 子どもが自ら進んで学童クラブに通い続けられるよう援助している
- 2 共通する生活時間の区切りをつくり、子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している
- 3 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している
- 4 【「新・放課後子ども総合プラン」「都型学童クラブ実施要綱」に基づき放課後子供教室と一体型で実施、または連携して実施する場合】
子どもが放課後子供教室の活動プログラムに参加しやすいように連携を取りながら援助している

5 子どもが日々の生活を円滑に過ごせるよう、学校等と密に連携を図っている

- 1 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している
- 2 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している
- 3 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている

6 子どもがおやつを楽しめるよう援助している

- 1 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している
- 2 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている
- 3 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している

7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

- 1 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している
- 2 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている

8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- 1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている
- 2 保護者同士が交流できる機会を設けている
- 3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている
- 4 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている
- 5 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている

9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- 1 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している
- 2 学童クラブの行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが地域の子どもや大人と交流できる機会を確保している

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

1 子どものプライバシー保護を徹底している

- 1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
- 2 子どものプライバシーに配慮して援助している

2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

- 1 日常の援助の中で子ども一人ひとりを尊重している
- 2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮して援助している
- 3 学童クラブ内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している

6 事業所業務の標準化

1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- 1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
- 2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
- 3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- 1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
- 2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている